

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【公開番号】特開2016-2285(P2016-2285A)

【公開日】平成28年1月12日(2016.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-002

【出願番号】特願2014-124570(P2014-124570)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月12日(2017.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つ以上の演出を行う複数の演出部材を備え、

該各演出部材は、前記演出を行う複数の演出表示面を有し、

該各演出表示面は、視認可能な状態と前記視認可能な状態より視認困難な状態とに構成され、かつ、前記視認可能な状態において他の前記演出部材の前記演出表示面と共に前記演出を行い、

前記複数の演出部材のうちの少なくとも1つは、前記演出表示面を発光させる発光部を備えている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記演出を行う場合に、

前記複数の演出部材で一つの意匠を構成可能とされている

ことを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記発光部は、原点位置と進出位置とに移動可能とされ、前記原点位置と前記進出位置とで発光態様が異なる

ことを特徴とする請求項1又は2記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、2つ以上の演出を行う複数の演出部材(150、160)を備え、

該各演出部材は、前記演出を行う複数の演出表示面(3701、3702、3703、3809、3810)を有し、

該各演出表示面は、視認可能な状態と前記視認可能な状態より視認困難な状態とに構成され、かつ、前記視認可能な状態において他の前記演出部材の前記演出表示面と共に前記演出を行い、

前記複数の演出部材のうちの少なくとも1つは、前記演出表示面を発光させる発光部（3705、3707、3809、3813）を備えている

ことを特徴とする。

また、前記演出を行う場合に、前記複数の演出部材で一つの意匠を構成可能とされることとしてもよい。

さらに、前記発光部は、原点位置と進出位置とに移動可能とされ、前記原点位置と前記進出位置とで発光態様が異なるようにすることも可能である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技の趣向性を向上させることができる遊技機を提供することができる。